



特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート
事業報告書

平成29年度 2017-18





つなぐ、つながる
つづけること。









人情喜劇「銀の馬車道」10年

劇団の「いろは」も知らず、文化団体でもない私たちのNPO法人が、「銀の馬車道」に出会い、一流のプロである松竹の協力を得て人情喜劇を上演してから10年。こんなに長く続くとは、誰も想像していなかった。いや、「銀の馬車道」が日本遺産になることさえも想像できなかった。

「銀の馬車道」は当時の面影を残す現存する場所がほとんどない。そんな中で、みんなの思いは、どうやったら「銀の馬車道」を多くの人に知ってもらうことができるか、その一念だけだったように覚えている。「銀の馬車道」という道路が、鎖国から解き放たれた明治時代の日本を世界水準にまで押し上げる力を持っていた道だったこと、そんな道がこの中播磨を縦断していたこと、まだまだ近代化が進んでいなかった日本で、そんな世界に続く道を導入する度量がこの中播磨という土地にはあったこと、それらをみんなに知ってほしい、そんな純粋な思いだけだった。

当初はさまざまな団体が、自分なりの「銀の馬車道」プロジェクトに取り組んでいた。「銀の馬車道」劇団もその1つに過ぎなかったのだ。10年間も続いた要因は、関わったそれぞれの人が自分なりの居場所を見つけ、自ら進んでその役割を担ってくれていたからに他ならないと思っている。

（我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」「はじめに」より）



10周年記念公演 第15回公演 市川町文化センター

■日　　程　平成30年1月14日(日)13:30～15:15
■場　　所　市川町文化センターひまわりホール
■来場者数　500名
■内　　容　主催／銀の馬車道ネットワーク協議会
　　協力／大阪人情喜劇の会、劇団赤鬼、
　　NPO法人姫路コンベンションサポート
■出　　演　藤山扇治郎・渋谷天笑 他

10年の節目に本を発刊しました

地元愛や苦労話を盛り込みつつ、人情喜劇「銀の馬車道」の歴史を紹介しました。地域おこし活動の取り組み例として、経費や人集め、日程調整などもノウハウもまとめています。

我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」
演劇が生んだ地域のつながり

日本遺産に登録された「銀の馬車道」をテーマに住民が作った演劇、20回近くも公演されている。劇団発足から10年、そこにどんなドラマがあったのか、関わった人の思いとは、そこには、当初は想像もしなかった地域が輝くヒントがあった。

定価　1,000円＋税
発売　神戸新聞総合出版センター



10年のあゆみ

第1回公演 平成19年10月	学校創立100周年記念事業 福崎町立田原小学校
第2回公演 平成19年12月	神戸新聞社 地才地創シンポジウムin中播磨 姫路キャスパホール
第3回公演 平成20年8月	神戸新聞社会賞受賞記念公演 姫路市市民会館
第4回公演 平成21年1月	市川町文化センター
第5回公演 平成21年5月	姫路市市民会館
第6回公演 平成21年10月	福崎町文化センター
第7回公演 平成22年8月	福崎町文化センター
第8回公演 平成22年8月	姫路花の北市民広場
第9回公演 平成23年1月	市川町文化センター
第10回公演 平成23年10月	神河町グリンデルホール
第11回公演 平成25年3月	姫路花の北市民広場
公演なし（新作制作期間）	
第12回公演 平成26年9月	生野マインホール
第13回公演 平成27年7月	神河町グリンデルホール
第14回公演 平成28年9月	福崎町文化センター
第15回公演 平成30年1月	10周年記念公演 市川町文化センター

わたしたちは
姫路コンベンション
サポートです

平成29年度は、10周年を迎えた銀の馬車道劇団の本を出版したこと、
念願だった事務所の改装、きてーな宍粟の充実化など、盛りだくさんな年でした。
第17期目を迎えスタッフも充実し、各々が自分の分野で
その才能を存分に生かしたことが、今期の素晴らしい成績に繋がったと思います。
コワーキングスペースの改修にあたり、
外部ファシリテーターを交えてのディスカッションをしたことも、
今後の目指す方向性などが明確化しました。



玉田恵美　小酒井里佳　依田法子　石塚富貴

■職員

事務局	玉田恵美　小酒井里佳　依田法子　石塚富貴
広畑市民センター	渡瀬郁子　小谷由紀　鈴木富美子
飾磨市民センター	室田憲二　元原純子　川治陽子　徳弘真実
東市民センター	北野弘司　岩西正昭　三好真奈美　吉田美紀
西市民センター	阿部眞　東山喜美子　玉越久美子　丸山由美子
灘市民センター	福本邦博　吉岡憲彰　小西洋子　岡田實
姫路市勤労市民会館	中野耕造　駒井信行　中塚孝繼　金森正敏
きてーな宍粟	大田寛子　小寺澤亜希子　竹村眞理　奥田智穂　黒田恵美子

■役員

理事長	玉田恵美
理事	岡本一　小川亮一　小川陽平 鎌谷正弘　佐賀とも子　藤原正彦
監事	赤西弘光　原昇平

平成30年2月24日に理事である今村純一さんがお亡くなりになりました。生前は姫路城英語ガイド活動に尽力され、法人の活動に多大な貢献をされました。ご冥福をお祈りいたします。



Mission

私たちは

本気でまちをおもしろくしたい人を

全力サポートする

法人です。

こんなことできたら
絶対おもしろい！

もっと
こんなことしたい！

生まれ育ったふるさとや、住んでいる地域、身近なコミュニティなど、
「まち」のために何かしたい本気の想いを、全力でサポートします。

一人ひとりの想いがカタチになると、
めちゃくちゃおもしろい「まち」になる。

私たちは、兵庫県姫路市から、そんなおもしろい「まち」がつながり、
全国へ広がっていくことを目指しています。

姫路コンベンションサポートのクレド（信条）
～こんな働き方をしています～

1

全力サポートするために
だれにでもモテる人になる！

私たちは、相手の立場で考え、感謝の心で接し行動することで、地域の人にも仲間にも愛され、信頼される人になります。結果、様々な人たちとのネットワークができ、あらゆる情報を収集・共有していきます。

2

全力サポートするには
なにごとも挑戦し続ける！

私たちは、経験豊かで多様な個性を活かし、自律心と向上心を持って取り組みます。目の前にあるものをそれだけで終わらせず、＋αし続けるとこが姫路コンベンションサポートらしいサポートの形です。

3

全力サポートを目指して
とにかく仕事を楽しむ！

私たちは、ともに同じ汗をかき、役立てることを喜び、笑顔で「人」に向き合います。私たちが仕事を楽しむことは、本気で「まち」をおもしろくしたい人を全力サポートする第一歩です。

私たちのしごと

「つなぐ」が「まち」をおもろしくする！
人・地域・情報をつなぐサポートをしています

地域をつなぐ

地域を1つにつなぐ。
地域と地域をつなぐ。
山間部と都市部をつなぐ。

地域内、地域間の連携、交流を後押しします



人をつなぐ

人と人をつなぐ。
人と場所をつなぐ。
人とアイデアをつなぐ。

ネットワークを活かし、人の可能性を広げます

情報をつなぐ

情報と情報をつなぐ。
情報と人をつなぐ。
情報と地域をつなぐ。

「まち」の様々な情報を集め、かけ合わせます



サービス

- 企画・立案
- 社会的企業運営アドバイス
- 各種団体事務局
- イベント

プロジェクト

- コワーキングスペース電博堂の運営
- アンテナショップ電博堂の運営
- 姫路市施設指定管理運営業務
- 銀の馬車道劇団事務局
- 姫路畳座事務局
- きてーな宍粟の運営
- 姫路城英語観光ガイド（i-guide）事務局

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポートの歴史

平成12年4月	ひめじ良さ恋まつり実行委員会の立ち上げ
平成14年7月	特定非営利活動法人（NPO法人）化
平成14年7月	みつまつり（兵庫県揖保郡御津町）企画・運営サポート
平成15年4月28日	御幸通商店街に「電博堂」をオープン
平成17年10月	日本青年会議所全国大会姫路大会関連事業
平成17年11月	いちのみやふるさとまつり実施
平成18年8月	i-Podを使った外国人向け観光ガイドプロジェクトを開始
平成18年9月	のじぎく兵庫国体関連事業
平成18年11月10日	姫路城外国語ボランティア養成講座　第一期開催
平成19年8月1日	人情喜劇「銀の馬車道」劇団設立
平成19年10月31日	人情喜劇「銀の馬車道」福崎公演　福崎町立田原小学校
平成20年4月	姫路菓子博2008関連イベント
平成21年7月19日	電博堂改装
	銀の馬車道アンテナショップオープン
平成21年11月22日	地産地消の店「たまちゃん街の駅」（御幸通商店街）オープン
平成23年8月	福崎町制55周年人情喜劇「柳田國男と河童」（福崎町文化センター）
平成23年11月	B-1グランプリin姫路関連事業
平成24年4月1日	姫路市広畑市民センター、飾磨市民センター指定管理受託
平成25年3月31日	播磨国総社三ツ山大祭　運営
平成25年4月	元町週末マルシェ事業（神戸市）
平成25年11月	姫路市南町76番地に事務所移転
平成26年4月1日～	姫路市勤労市民会館指定管理受託
平成26年4月28日～	ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」オープン
平成26年5月11日	コワーキングスペース電博堂オープン
平成27年4月1日～	姫路市灘市民センター、西市民センター、東市民センター指定管理受託
平成28年7月	ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」リニューアルオープン
平成28年8月	アンテナショップ電博堂オープン
平成29年2月	小泉武夫講演会（宍粟市）
平成30年1月	我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」演劇が生んだ地域のつながり　本出版

2017年度
活動報告

1 コワーキングスペース 電博堂

人と人とをつなぎ、新しい事業を生み出す場として活用するコワーキングスペース電博堂。コワーキングスペースとは場所を共有しながら会議や打ち合わせ、勉強などを行うことが目的です。

29年度末にリニューアル改装をし、4月にオープンしました。団体や企業の利用が多いことから、少人数でもご利用していただきやすいようにと、事務所と完全分離。入口を2か所にし、プライバシーにも配慮しています。木目とダウンライトが、落ち着いた空間を演出します。





■利用時間

平日 9時から20時（土・日・祝は休み）※応相談

■利用料金

一時利用	料金	備考
全面（2時間まで）	平日 3,000円 休日 5,000円	以降1時間ごとに 1,000円
半面（2時間まで）	2,000円 休日 なし	以降1時間ごとに 1,000円
個人利用（2時間まで）	1名 500円	以降1日1,000円まで ※ただし貸切利用時は使用不可

※NPO団体の方は半額でご利用いただけます。

利用者のコメント

子どもたちが多い書道教室なので、駅から近いのが何よりです。

奥野あゆみさん（日本習字 静春塾）

本社が遠くにあるので、移動時間を短縮するためスタッフで利用させていただいています。ネットやモニターもあるので、スカイプで会議ができるのも魅力的です。

井本さん（メーカー勤務）

2017年度
活動報告

2 アンテナショップ 電博堂の運営

姫路コンベンションサポートが初めて事務所を開設した御幸通商店街の北の端に、28年4月にオープンしたアンテナショップ電博堂。2年目を迎え、懸案だった冬期の営業も受注できるようになりました。

また、販売だけではなく、芸術作品の制作販売などもあり、利用者が場所の使い方を提案してくださるようになりました。姫路城や大手前公園でのイベントがあるときには予約が早い時期から入るなど、周辺施設と連動できていることは、商店街への誘客にもつながると感じています。





■場　所

姫路市綿町90番地
（御幸通り商店街 ボンマルシェ北側）

■利用料

30,000円（＋税）
※冬期12月から2月は20,000円＋税

COLUMN 老舗百貨店の閉店をどう受け止めるか

平成30年2月末、110年続いた老舗百貨店「ヤマトヤシキ」がその歴史に幕を下ろしたのは、同じ御幸通商店街の一員としてもショックな出来事でした。特に大手前通りに面した側のシャッターの長さはかなりの衝撃を受けました。桜のシーズンは商店街の人通りは保証されるでしょうが、6月の梅雨入り後から夏にかけてが課題ではないかと推測しています。

地元商工会議所や商店街も1階の活用方法について、ビルオーナーと検討を重ねています。30年5月25日には南側に御幸通ステーションがオープンします。我々市民ができることは何か、知恵を出し合い、姫路のまちを元気にする方法を考えていきたいと思います。

2017年度
活動報告

3 ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」

ふるさと宍粟PR館
きてーな宍粟
kite-na SHISO

1年間で売上は約2倍、出荷登録者は約1.5倍と、きてーな宍粟は生産者と消費者をつなぐ店として大きな成果を残した1年でした。

7月29日には1周年記念イベントを実施し、常連のお客さまはもちろんのこと、新しく来られた方にも「ショッピングエコバック」プレゼントや「そば」のふるまいをするなどし、大変賑わいました。加えて2月には「大人の発酵教室」で味噌づくり体験も実施。きてーな宍粟が人の交流の場所として、定着しつつあります。



■概要

ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」姫路市西駅前町1
079-287-3123

■営業時間　10時から18時

宍粟市移住定住ツアー

宍粟市の最重点課題は人口減少です。4万人を切り、3月末現在で38,316名。29年4月からの1年間で692名の減。これは社人研の予測よりもかなり早いスピードで減少していると言えます。そこで、10月に移住定住ツアーを実施しました。参加者20名には、移住者との交流や森林セラピーを通じ、「子育てしやすいまち」「おいしいものがたくさんのまち」をPRできたかと思います。この中の1組でも、宍粟に興味を持ち、関係を深めてもらえたらと願います。



＼きてーな宍粟おすすめの逸品／

店で人気メニューの1つ「おむすびセット」。すべて宍粟市産のもので作られた中味に「やさしい味」と好評です。中でもおむすびは注文を受けてから握るというこだわり。おむすび2つ、卵焼き、総菜、お味噌汁がついてこの値段はお得です。



おむすびセット
（500円）

宍粟市産のじゃがいも100%を使ったホクホクのコロッケです。お手軽な値段ということもあり、まとめ買いする人も。今や店の看板メニューとなりました。イタリアのライスコロッケ「アランチーノ」は「お山コロッケ」（150円）の名前で販売中。揚げたてのおいしさをお楽しみください。



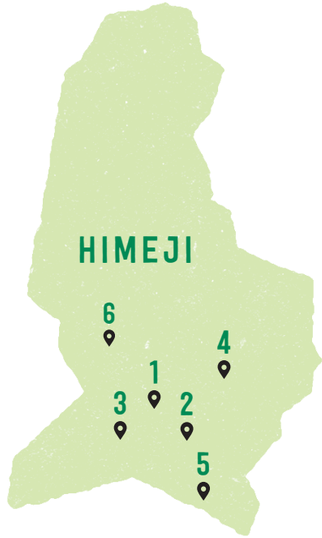
宍粟コロッケ
（100円）

2017年度
活動報告

4 姫路市施設指定管理業務

姫路市内にある6つの施設の指定管理の運営業務に携わっています。より、地域と密着したコミュニティづくりをしたいとの思いから、平成24年にNTTファシリティーズとJVを組み、6年が経過しました。

これまでの所長会議に加えて、運営スタッフ会議も実施。お客様の声を共有し、センター間での課題解決のために取り組んでいます。



1 姫路市勤労市民会館

姫路市
中地354番地

17時から21時の夜間にも予約受付ができるとあって、利便性の高い館です。



2 姫路市飾磨市民センター

姫路市飾磨区玉地1丁目27

姫路駅南から車で10分の好位置にあり、多くの利用者でにぎわいます。



3 姫路市広畑市民センター

姫路市広畑区
正門通1丁目7番地3

平成30年度は7月から全面改修工事に入ります。



4 姫路市東市民センター

姫路市花田町
加納原田888番地1

毎月1回、ロビーで所長のギターライブを開催中！ぜひ一緒に歌いましょう。



5 姫路市灘市民センター

姫路市白浜町宇佐崎中
2丁目520番地

広い駐車場は利用者の方にも人気のセンターです。



6 姫路市西市民センター

姫路市飾西728番地5

こじんまりとしたアットホームなセンターは、ホットな話題の講座を不定期で実施しています。



COLUMN　指定管理制度のありかた

指定管理制度とは、地方公共団体が設置する「公の施設」の管理を法人や団体に管理を負わせる制度のことを言います。施設の管理に民間のノウハウを活用し、利用者に対するサービスの向上が期待できること、また、指定管理者の選定手続きを公募することで、管理コストの軽減を図ることができるため行政改革の一つとして、多くの自治体で取り入れられています。

一方で課題も多く、指定管理期間が5年などの短期になれば、ノウハウの蓄積ができず、利用者にも迷惑をかけるなどの弊害があります。加えて、指定管理を出す行政側がその設置目的や役割を明確に理解しておらず、指定管理者を委託業者として扱い業務に支障が生じるなどの弊害があります。

制度設計段階から有識者を入れ、その施設の進むべき道とその目的を達成できる指定管理制度を作る必要があると考えます。

2017年度
活動報告

5 コンベンション等の開催に関わる事業

その他イベント開催

5月	第18回ひめじ良さ恋まつり
7月	姫路港ふれあいフェスティバル
10月	御幸通り商店街ハロウィンイベント
10月	ヘルス&ビューティーフェスタ2017
10月	宍粟市移住定住ツアー
通年	太市まちづくり協議会コーディネーター



太市まちづくり協議会



姫路港ふれあいフェスティバル

ボランティアグループサポート

今年度は、以下の団体の事務局業務を実施しました。

- アイガイドなびグループ
- 姫路忍者会
- 姫路甲冑隊
- 門番さくら組

新聞掲載

様々なメディアにも掲載されました。

- 読売新聞　平成30年2月27日（朝刊）
- 神戸新聞　平成30年2月27日（朝刊）
- 神戸新聞　平成30年2月25日（朝刊）

COLUMN 太市小学校でワークショップを開催



これまで中心市街地の活性化についての活動をやってきましたが、今年は姫路でも過疎化が進む太市校区の「太市駅周辺の地区計画」についてコーディネートを実施しました。自治会組織を中心とする「太市まちづくり協議会」とともに十数回に渡る会議をし、子どもたちに繋ぎたい地域づくりについての話し合いを重ねましたが、ここに女性や子どもたちの姿がないことに違和感を覚えました。

そこで、太市小学校で3回に渡るワークショップを開催。「都会に近い田舎になりたい」という子どもたちの思いが「とかいなか」というキーワードとなって生まれました。30年度からは自治会とともにこのキーワードで事業推進したいとのこと。子どもたちに繋ぐまちにするのも私たちの役割です。

平成29年度 収支決算書

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年3月31日

（単位：円）

科目			金額		
Ⅰ経常収入		事業　収入			
		コンベンション開催に関わること	4,321,830		
		人材育成に関わること	1,778,346		
		情報発信に関わること	38,836,302		
		調査研究に関わること	0		
		普及啓発に関わること	56,405,226	101,341,704	101,341,704
		正会員会費収入	123,600		123,600
		補助金収入	3,457,516		3,457,516
		寄付金収入	5,000		5,000
		受取利息収入	71		71
		雑　収　入	10,302		10,302
		経常収入　計			104,938,193
Ⅱ経常費用	1. 事業費	期首棚卸高	36,554		
		期首商品棚卸高 計	36,554		
		事業　支出			
		コンベンション開催に関わること	3,084,105		
		人材育成に関わること	1,232,827		
		情報発信に関わること	31,312,550		
		調査研究に関わること	0		
		普及啓発に関わること	12,068,197	47,697,679	47,697,679
		給料　手当（事業）	34,707,178		
		減価償却費（事業）	1,408,890		
		当期事業費 計	83,813,747		
		合　計	83,850,301		
		期末棚卸高	△ 34,607		
		期末商品棚卸高 計	△ 34,607		
		事業費　計		83,815,694	83,815,694
	2. 管理費	研　修　費	70,502		
		給料　手当	11,331,784		
		法定福利費	3,853,694		
		福利厚生費	189,635		
		通　信　費	369,822		
		水道光熱費	179,995		
		旅費交通費	214,013		
		広告宣伝費	327,452		
		接待交際費	60,888		
		会　議　費	133,482		
		事務用消耗品費	1,060,360		
		新聞図書費	4,199		
		印　刷　費	34,630		
		修　繕　費	59,945		
		地代 家賃	600,000		
		車両燃料費	72,241		
		租税　公課	50,458		
		諸　会　費	111,374		
		慶　弔　費	5,000		
		リース　料	702,700		
		支払手数料	1,009		
		管理　諸費	629,636		
		減価償却費	10,257		
		固定資産除却損	192,884		
		雑 費	10,000		
		管理費 計		20,275,960	
		経常費用計			104,091,654
		税引前当期正味財産増加額			846,539
		法人税等			82,000
		当期正味財産増減額			764,539
		前期繰越正味財産額			5,458,525
		次期繰越正味財産額			6,223,064

30年度
事業計画

新規
自主事業

外国人観光客のおもてなし事業
「KANSAI DISCOVER JAPAN」

姫路城に訪れる外国人は、2020年を目指してこれからも増え続けると考えられています。姫路だけを訪れる外国人はほとんどおらず、関空から京都、大阪などを経て姫路に来られます。そこで、関西一円の通訳案内士（有資格者）にガイドとして登録をしてもらい、有料ガイドサービスを展開することとなりました。

Walking tour to Himeji castle

実施日程を設定することにより、比較的安価に体験できる英語ガイドツアーです。

■催行日時　月・木・土曜　10:00～13:00

■ツアー場所　姫路駅～姫路城

■ガイド料（税込み）　大人3,000円/1人、6~12歳2,000円/1人
※時間延長の場合は1グループにつき、2000円追加（1時間毎）となります
※料金に姫路城への入場料、交通費、飲食代は含みません

■サイト　https://denpakudo.jp/walking-tour-to-himeji-castle/

1day private tour in Kansai

関西を中心にお客様のリクエストに応じたツアーを企画する英語ガイドです。

■催行日時　お客様のご要望に応じた日時

■ツアー場所　お客様のご要望に応じた関西エリア

■ガイド料目安　1日（7時間）25,000円程（1グループ5名様の場合）
※料金に交通費や施設への入場料、飲食代等は含みません

■サイト　https://denpakudo.jp/1day-private-tour-in-kansai/

自主事業

1. 全国週替わりアンテナショップ電博堂の運営
2. コワーキングスペース電博堂の運営
3. 外国人向け姫路城ウォーキングツアー、有料ガイド

委託事業

1. きてーな宍粟の運営
2. 姫路市施設指定管理業務
3. 人情喜劇銀の馬車道 最終章（8月19日）
4. 姫路港ふれあいフェスティバル（7月16日）
5. 銀の馬車道サイクリングツアー（3月予定）
6. その他委託業務

平成30年度 収支予算書

自 平成30年 4月 1日　至 平成31年 3月31日

（単位：円）

科　目	2018（平成30）当初予算	2017（平成29）決算	増　減
Ⅰ経常収入			
事業　収入	110,000,000	101,341,704	8,658,296
正会員会費収入	100,000	123,600	△ 23,600
補助金収入	3,000,000	3,457,516	△ 457,516
寄付金収入	0	5,000	△ 5,000
受取利息収入	200	71	129
雑　収　入	0	10,302	△ 10,302
経常収入　計	113,100,200	104,938,193	8,162,007
Ⅱ経常費用			
1. 事業費			
期首棚卸高	34,607	36,554	△ 1,947
事業　支出	50,000,000	47,697,679	2,302,321
給料　手当（事業）	37,000,000	34,707,178	2,292,822
減価償却費他（事業）	1,300,000	1,408,890	△ 108,890
当期事業費計	88,300,000	83,813,747	4,486,253
合　　計	88,334,607	83,850,301	4,484,306
期末棚卸高	△ 35,000	△ 34,607	△ 393
事業費①　計	88,299,607	83,815,694	4,483,913
2. 管理費			
研　修　費	300,000	70,502	229,498
給料　手当	12,000,000	11,331,784	668,216
法定福利費	4,000,000	3,853,694	146,306
福利厚生費	200,000	189,635	10,365
通　信　費	400,000	369,822	30,178
水道光熱費	170,000	179,995	△ 9,995
旅費交通費	210,000	214,013	△ 4,013
広告宣伝費	350,000	327,452	22,548
接待交際費	50,000	60,888	△ 10,888
会　議　費	130,000	133,482	△ 3,482
事務用消耗品費	1,100,000	1,060,360	39,640
新聞図書費	10,000	4,199	5,801
印　刷　費	40,000	34,630	5,370
修　繕　費	60,000	59,945	55
地代　家賃	600,000	600,000	0
車両燃料費	73,000	72,241	759
租税　公課	50,000	50,458	△ 458
慶　弔　費	20,000	5,000	15,000
諸　会　費	130,000	111,374	18,626
リース　料	700,000	702,700	△ 2,700
支払手数料	2,000	1,009	991
管理　諸費	700,000	629,636	70,364
減価償却費	120,000	10,257	109,743
固定資産除却損	0	192,884	△ 192,884
雑　　費	1,000	10,000	△ 9,000
管理費②　計	21,416,000	20,275,960	20,786,364
①+②	109,715,607	104,091,654	109,705,350



特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート

姫路市南町76 城陽ビル2階
TEL 079-286-8988
FAX 079-286-9009
info@denpakudo.jp
https://denpakudo.jp